

女性消防団員の確保について

1 消防団の特性と団員数の推移

消防団は消防組織法に基づき市町村に設置される消防機関で、消防団員は普段それぞれの仕事に従事しながら、火災や災害発生時に対応する非常勤特別職の地方公務員。

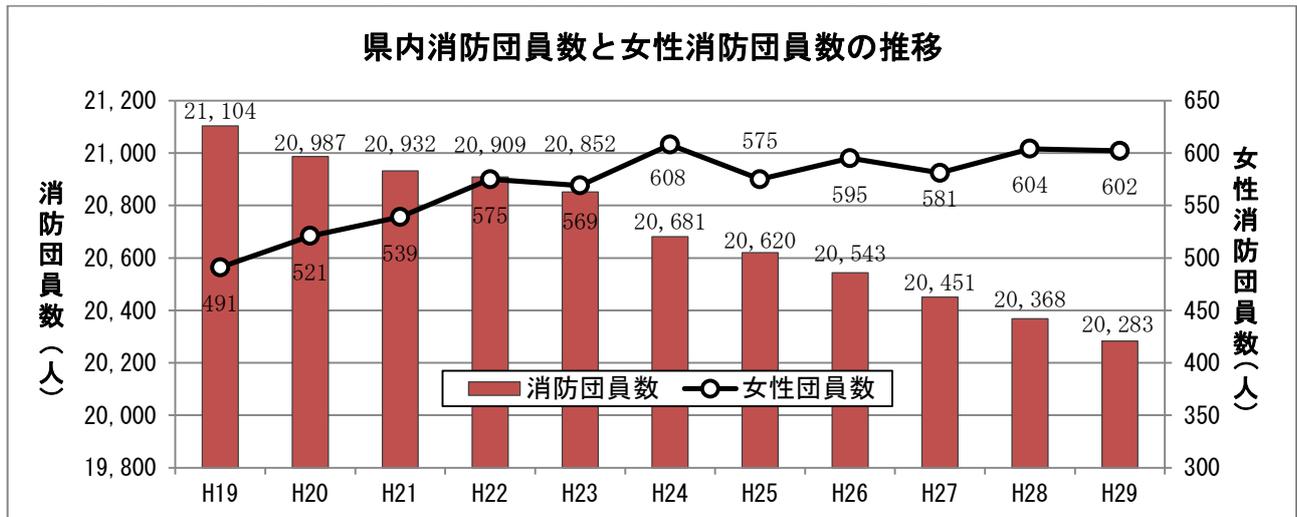
団員には、数万円程度の年額報酬や1回数千円程度の出動手当が支給されるほか、被服や装備の貸与、公務災害補償や一定期間以上勤務した場合の退職報奨金等がある。

① 消防団の特性

- 地域密着性：消防団員の大半は地域の住民であり、地元の地理や事情等に通じ、地域に密着した存在である。
- 要員動員力：団員数は減少傾向が続いているものの、常勤消防職員の約10倍以上（県内団員：職員＝約20,000：約1,800）の人員を有している。
- 即時対応力：消防団員には被服や装備が貸与され、日頃から訓練を受けるなど、災害発生時に即時に対応できる能力を有している。

② 団員数の推移（H29.4.1現在）

- ・ 県内消防団員数は20,283人。社会構造の変化等により10年前に比べ約800人減少。
- ・ 県内女性消防団員数は602人。10年前に比べ100人以上増加するも最近はやばい。
- ・ 女性消防団員の全団員に占める割合は、全国2.94%、愛媛県2.97%。



2 女性消防団員の役割と加入促進

① 女性消防団員の役割

女性消防団員は、人口減少が進む中、新たな消防団の担い手として期待されており、火災予防の啓発や応急手当の指導、消防団のPR活動など、役割や業務が拡大。

② 女性消防団員の加入促進

○女性消防団員加入促進アピール大会の開催（H27～）

県では、女性消防団員に係る県民の意識を高め、女性団員増加を図るため、県消防協会と連携し、女性消防団員加入促進アピール大会を東・中・南予で開催。

- ・ H27. 12. 7 ひめぎんホール（松山市）、H28. 12. 4 グリーンピア玉川（今治市）
H29. 8. 5 西予市宇和文化会館（西予市）
- ・ 参加者：約600人（消防関係者、一般県民等）
- ・ 内容：基調講演、体験発表、アピール宣言等